

女性向け就職活動再開促進事業

地域の実情と課題

- ・ 離職した女性の再就職ニーズは、新型コロナの影響により、非正規雇用者をはじめとして高まっており、家計の収入減等から就職を希望する女性が増加している。一方で、飲食業、宿泊業、小売業など多くの女性の雇用の受け皿となってきた業種においては経営環境が非常に厳しくなっており、早期再就職のためには就労経験のない業種や職種等への変更を要する場合もあり、**当面の就職活動を見合わせている女性が増加していることから、これらの女性の就職活動の再開を促す必要がある。**

事業の特徴

- ・ コーナーの利用対象者(子育て世代女性)は順次入れ替わっており、**支援が必要な女性に継続的にコーナーの支援情報を周知するために、子育て世代女性が目にするのが多いWEB広告の配信や市町の子育て支援施設などへのリーフレット配架などを行った。**
- ・ 当面の就職活動を見合わせている女性も増えていることから、対象女性が立ち寄る**県内商業施設内等で女性の再就職の意識付けを行うイベント等を開催し、コーナーの利用を促し、再就職に向けた支援を行った。**

事業の効果

- ・ イベント参加者からは「子育てしながら働くには、家族と将来像を共有することが大切だと学んだ」などの声があったことから、**就職活動の再開だけでなく、長期的なキャリアに対しての意識付けを行うことができた。**
- ・ また、新聞やSNS等にイベントが取り上げられたことで、**イベントに参加していない県内女性に対してもPRすることができた。**
- ・ WEB広告の実施期間において、「わーくわくママサポートコーナー」の**ホームページアクセス数が増加(前年比193%増※)**したことから、コーナーの認知度を上げることができたと認識している。

※WEB広告を実施しなかった昨年度同月との比較による。

目的・目標

【目的】

再就職に向けたキャリアカウンセリングを実施するわーくわくママサポートコーナーへの利用及び再度働くことに対する動機づけを促すイベントを行うとともに、女性活躍の機運醸成に向けて継続的な取組(広報活動)を行う。

【目標】()内は実績

わーくわくママサポートコーナーの年間相談者数 920人(832人)

わーくわくママサポートコーナーを通じた早期就職者数 280人(215人)

連携団体

「働き方改革推進・働く女性応援会議ひろしま」

官民等が連携して発足した組織である。同会議の構成団体として県内全23市町が加盟しており、市町主催の未就業女性を主な対象とするセミナーや就職相談会などや市町が運営する子育て支援施設等を通じて「わーくわくママサポートコーナー」を広く周知した。

「女性活躍の推進に関する連携協定」

連携協定を締結している民間企業と連携したイベント等を実施し、再就職への意識付けを行うとともに、わーくわくママサポートコーナーへ誘導した。

今後の課題

- ・ 子育て世代は、勤務時間・勤務場所、保育所の確保等の制約や就活時の子供の預け先確保などにハードルがあり、早期就職が困難になる恐れがあるため、引き続き、就職活動の支援などを、「わーくわくママサポートコーナー」で対応することにより、早期の再就職支援を行う必要がある。
- ・ また、非正規雇用者は、雇用調整の対象になりやすい等の課題がコロナ禍でより浮き彫りになったことから、今後、非正規雇用で働いている女性が正規雇用を希望する際、仕事と暮らしの両立に対する不安に加え、希望する就業とのギャップ、業種等の転換が求められる中での再就職が困難になる恐れがある。このため、女性のキャリア形成を進めるとともに、デジタル分野への就業を後押しすることで、女性の就業を支援する必要がある。

(1) 就職活動再開促進イベントの実施

新型コロナ等の影響により、仕事と暮らしの両立を目指す女性の再就職は難しくなっていることや当面の就職活動を見合わせている女性が増えている状況を鑑み、女性が立ち寄る県内商業施設内で女性の再就職の意識付けを行うイベント等を開催した。また、意識付けに留まらせないため、イベント会場には、わーくわくママサポートコーナーの出張相談窓口を設置し、再就職に向けた支援も同時に行った。

(2) 広報活動

わーくわくママサポートコーナーの認知度向上や就職再開促進における取組では、利用対象者(子育て世代女性)が順次入れ替わっていることから、支援が必要な女性に対し、継続的にコーナーの支援情報を周知する必要があるため、WEB広告の配信や市町の子育て支援施設などへのリーフレット配架などを行った。



↑イベント告知チラシ



↑イベントの様子



↑リーフレット



↑WEB広告